

## 「地震シミュレーション訓練」企画案

### <テーマ>

BCP基礎演習「地震シミュレーション訓練」  
～地震後1時間をリアルタイムで体験する～

### <内容>

- ・巨大地震発生から1時間のシミュレーション机上訓練。
- ・参加者は市内の架空企業の経営幹部となって、刻々と変化する状況をとらえ、対応を検討し、意思決定を行う。



### <訓練の目的>

- ・緊急時を疑似体験することで、災害時のイメージを体得する。
- ・経営責任者またはリーダーとして迅速に意思決定することの難しさを理解し、多くの気付きを得る。
- ・単なる防災対策にとどまらず、BCPにつながる考え方を身につける。

### <対象者>

中小企業経営者、経営幹部、中間管理職、防災担当者

### <手順>

- ・1グループを4～6人で構成。
- ・メンバーは、社長以下、経営幹部の役割を担う。
- ・会議室で役員会議開催中に被災したという想定。
- ・地震発生後の1時間をリアルタイムで経験する。
- ・緊急地震速報が流れるところから訓練開始。
- ・刻々と様々な情報が入る。

音声情報：緊急地震速報、ラジオ放送

メモ情報：現場の状況、周辺地域の状況

- ・入ってくる情報をもとにディスカッションし、どう判断し、どう行動するかを決定していく。
- ・訓練終了後、「どう判断し、どう決断し、どう行動したか」をグループごとに発表。
- ・会場全体で意見交換。
- ・最後にプログラムに仕込まれていた課題の種明かし。



### <時間の流れ>

事前説明:20分

訓練:60分

休憩:10分

振り返り:90分

(標準所要時間:180分)



### <対応可能人数>

8人～120人

(20人～40人が最適)

### <会場にご準備いただくもの>

プロジェクター

スクリーン

マイク

音響設備(パソコン音声を会場に流すため)

(パソコン、スライドデータ、音声データ、その他の訓練グッズはインストラクター持参)

### <配付資料>

訓練説明書

想定企業概要資料

記録表

振り返りアンケート

(参加人数分印刷の上、ご準備いただきます)

### <補助スタッフ>

グループ数が多い場合、情報カードを配布する補助スタッフが必要。

### <この訓練プログラムの特徴>

- ・ナレーション音声や情報カードを使った臨場感ある演出。
- ・経営者、管理者としての対応が求められる経営シミュレーションになっている。  
(単なる被災シミュレーションではありません)
- ・受講者が自ら考え答えを探っていく参加型セミナー。  
(知識を一方向的に教えられる受け身型のセミナーではありません)
- ・シナリオにさまざまな課題が組み込まれており、訓練を通してBCP特有の考え方を学ぶことができる。
- ・訓練後の意見交換で、自分が見落としていた重要ポイントを発見できる。
- ・参加型研修の面白さ、シミュレーション訓練のゲーム性。
- ・専門知識や事前準備がなくても参加可能。

### <訓練シナリオに組み込まれている課題>

- ・初動時情報不足の克服
- ・情報の仕分けと優先課題の発見
- ・指揮命令系統の修復
- ・取引先企業との意思疎通
- ・情報拠点の確保
- ・地域社会への貢献
- ・2次災害の防止
- ・帰宅困難者への対応
- ・状況の先読みをした意思決定



### <参加者のアンケートより>

- ・リアルタイムで変化する状況に対応し決断していくところが、臨場感があり、震災時の緊迫感を実感できた。
- ・震災が起きた時、自社だけではなく、地域、取引先のことにも考える必要性を痛感しました。
- ・会社経営者は、一般の被災住民と同じ感覚で考えていてはだめだと言うことに気づかされました。
- ・我が社で、まだまだ準備しておかなくてはならないことがたくさんあることが分かった。
- ・最後の「仕込まれていた課題の種明かし」は、目からうろこ。自分たちがいかに狭い範囲でしか対応できていなかったか。
- ・自分の会社でも、この訓練をやってみたい。

### <主な実績>

富士火災海上保険株式会社 社内研修  
AIU 損害保険株式会社 社内研修  
竹本油脂株式会社 幹部研修  
愛知県商工会議所青年部連合会 会長会議  
高松青年会議所 例会事業  
京都商工会議所 ビジネスセミナー  
松山商工会議所 リスクマネジメントセミナー  
名古屋市 BCP セミナー  
堺市BCPセミナー  
大阪SMBCビジネスセミナー ほか多数

### <お問い合わせ先>

ひらきプランニング株式会社 平野喜久  
〒600-8102 京都市下京区本覚寺前町 821-901  
hiraki@mub.biglobe.ne.jp MP 080-5123-4835 TEL 075-366-6871

## <インストラクター・プロフィール>

平野 喜久(ひらの・よしひさ)

中小企業診断士、上級リスクコンサルタント



1962年愛知県生まれ。名古屋大学経済学部経営学科卒、鐘紡株式会社財務本部にてファイナンス業務。現在、ひらきプランニング株式会社代表取締役。企業のリスクマネジメント、BCP(事業継続計画)の策定支援、ビジネスパーソンのリスクリテラシー開発をテーマに、講演、研修、執筆、e-ラーニング教材の企画・制作など、意欲的に活動を展開。特に、中小企業向けBCP策定支援は、2005年より取り組んでおり、指導実績はトップクラス。個人経営の民宿から社員500名の製造業まで守備範囲は広い。

中小企業診断士(経済産業大臣認定)。

上級リスクコンサルタント(NPOリスクマネージャー&コンサルタント協会認定)。

NPO東海リスクマネジメント研究会:副理事長。

著書『天使と悪魔のビジネス用語辞典』(すばる舎)

『簡単モデルでBCPを作ろう』『BCPの秘密鍵30』『レジリエンス認証を取得しよう』(Kindle)

「ケーススタディ『八甲田山死の彷徨』名著に学ぶリスクマネジメント」(Kindle)

デジタル教材「中小企業の新型インフルエンザ対策:マニュアル・テンプレート集」

監修「中小企業BCPモデル」(滋賀経済同友会)

監修「BCP 図上演習 I・II」(富士火災海上保険株式会社)

連載「平野喜久先生の知っとく社会人用語」(毎日コミュニケーションズ)

運営ブログ「天使と悪魔のビジネス雑記帳」